

令和4年度吉浦中学校区研究推進計画

吉浦中学校区 校番(15) 呉市立吉浦中学校

校長名 河本 英希

1 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

2 目指す児童生徒像

○自分のよさに気づき, そのよさを豊かに表現できる児童生徒…自分を大切にする(自利)

○相手を思いやる心を持ち, 友だちと力を合わせる児童生徒…相手を大切にする(利他)

○生まれてきたことを喜び, 家族・地域に感謝・貢献する児童生徒

…家族・地域を大切にする(貢献)

3 育成をめざす資質・能力(具体の姿)

	知識及び技能 (1) 知識, 技能	思考力, 判断力, 表現力等 (2) 情報収集・判断力 (3) 思考力・表現力	学びに向かう力, 人間性等 (4) 協働 (5) 郷土愛
後期	・課題を発見し解決するために, 生きて働く知識や技能を活用して課題解決することができる。	・未知の状況にも対応できるよう, 尋ねたり, 調べたりすることで, ものの見方や考え方を広げ深めることができる。 ・収集した情報, 自分の考えや気持ちを, 相手が理解しやすいように工夫しながら, 分かりやすくまとめて伝えることができる。	・課題解決に向けてどのように社会や世界と関わるかを考え, 周囲と力を合わせて取り組もうとしている。 ・地域について考えることを通して, 呉・吉浦のよさに対する理解を深め, 地域にどんな貢献ができるかを考え行動しようとしている。
中期	・情報を比較・分類・関連付けるなど, 学んだ知識や技能を活用することができる。	・尋ねたり, 調べたりして, 問題解決に必要な情報を見付け, 選び出すことができる。 ・相手や目的に合わせて表現方法や内容を工夫し, 自分の考えや気持ちを伝えることができる。	・計画的に話し合い, 互いのよさを生かし, 周りの人と協力しながら自分の役割を果たそうとしている。 ・地域について知ることを通して, ふるさとのよさに対する理解を深め, 地域をよりよくしていこうと進んで活動することができる。
前期	・情報を比較・分類するなど, 学んだ知識や技能を身に付けることができる。	・尋ねたり, 調べたりして, 関係がありそうなものを見付けることができる。 ・自分の考えや気持ちを内容に合った適切な方法で伝えることができる。	・友達の意見を認め, 友達と協力して学習や活動に取り組もうとしている。 ・ふるさとのよさに気付いたり, 考えたりすることを通して, 地域に愛着をもつことができる。

4 研究主題等

(1) 研究主題

郷土を愛し, 心豊かで, たくましく生きるため, 主体的に学ぶ児童生徒の育成

～教科等の本質に迫る「考える授業づくり」を通して～

(2) 設定理由

3年前、吉浦中学校区では、研究主題を「郷土を愛し、心豊かで、たくましく生きるための基盤となる資質・能力の育成～学ぶ意欲を向上させる『課題発見・解決学習』の授業づくりを通して～」と設定し、小中一貫教育を進めてきた。確かな学力推進部会では、「育成を目指す資質・能力」の向上のための授業づくりと「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」という。）の趣旨を踏まえた評価の在り方について研究をした。豊かな心教育推進部会では、教科横断的なカリキュラム・マネジメントの推進と教育相談の充実について研究を進め、カリキュラムマップの見直しをした。基礎的・基本的な力を継続して育てつつ、学ぶ意欲を向上させる「課題発見・解決学習」の授業づくりに取り組み、また、「育成を目指す資質・能力」として、「知識、技能」「情報収集・判断力」「思考力・表現力」「協働」「郷土愛」の5つを設定してきたものを、教師はもちろん、児童生徒にも意識させながら授業を進めてきた。道徳科や各教科、総合的な学習の時間及び特別活動等を効果的に関連づけて、資質・能力の向上を目指したカリキュラム・マネジメントの推進を行い、学習者基点の「課題発見・解決学習」を取り入れた「考える授業づくり」を視点を研究を進めていくことで、習得したことを活用し、主体的に学ぶ児童生徒を育成してきた。本年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため研究が十分にできなかったため、引き続き研究を推進していく。令和3年度の成果と課題は、以下のような結果として表れた。

【視点1】「基礎・基本」定着状況調査、及び全国学力・学習状況調査等、児童生徒質問紙調査における肯定的評価が高まったか。

	小学校		中学校	
	1学期	2学期	1学期	2学期
授業で課題を解決するために進んで資料を集めたり取材をしたりする。	86.1%	88.5%	59.3%	63.1%
自分の課題を考え、家庭学習の計画を立てることができる。	86.9%	82.5%	72.8%	67.6%
新しい問題に出会ったときに解いてみたいと思う。	91.0%	88.9%	68.4%	58.3%
自分の考えを表現しようとしている。	83.9%	84.5%	79.0%	79.9%
学んだことを活用しようとしている。	86.9%	89.7%	84.9%	82.0%

【視点2】学力調査での通過率が全国平均以上になったか。

○小学校の標準学力調査の通過率（％）

令和3年度は、実施できなかった。

○小学校の全国学力・学習状況調査の通過率（％）

	国語	算数
小学校の平均	66.0	72.0
全国の平均	64.7	70.2

○中学校の標準学力調査（1・2年）及び全国学力・学習状況調査（3年）の通過率（％）

	1年			2年			3年	
	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学
中学校の平均	53.1	42.6	45.5	46.0	53.6	47.1	62	52
全国の平均	61.3	51.8	56.5	53.1	59.8	57.3	64.6	57.2

【視点3】児童生徒アンケートにおける肯定的評価が高まったか。

○小学校の重点項目に係る意識調査

検証の指標	1学期	2学期
自分には、よいところがあると思う。	79.3%	81.1%
C今住んでいる地域には、よいところがあると思う。	95.5%	97.8%
C今住んでいる地域のために、地域の行事などに参加している。	86.9%	83.2%
A将来の夢や目標をもっている。	91.8%	87.1%
A将来の夢や目標に向かって努力している。	85.7%	84.1%
Aよいことと悪いことを判断し、自分が正しいと思ったことを行っている。	88.0%	89.2%
B人の気持ちが分かる人になりたいと思う。	97.0%	96.2%
B相手のことを思いやり、親切にしている。	89.9%	91.4%
C学校のきまりを守っている。	92.9%	92.7%
Cみんなで協力して、学習したり生活したりしようとしている。	93.5%	94.8%
自分の役割や責任をもって取り組もうとしている。	91.4%	94.8%

○中学校の重点項目に係る意識調査

検証の指標	1学期	2学期
自分には、よいところがあると思う。	77.1%	79.9%
C今住んでいる地域には、よいところがあると思う。	92.1%	89.2%
C今住んでいる地域のために、地域の行事などに参加している。	66.4%	66.2%
A将来の夢や目標をもっている。	73.6%	72.5%
A将来の夢や目標に向かって努力している。	67.7%	67.6%
Aよいことと悪いことを判断し、自分が正しいと思ったことを行っている。	87.9%	93.5%
B人の気持ちが分かる人になりたいと思う。	94.3%	95.0%
B相手のことを思いやり、親切にしている。	89.3%	92.8%
C学校のきまりを守っている。	91.4%	94.9%
Cみんなで協力して、学習したり生活したりしようとしている。	87.8%	91.3%
自分の役割や責任をもって取り組もうとしている。	89.3%	86.3%
今住んでいる地域に、貢献しようとしている。	72.8%	77.7%

【視点1】において、小・中学校ともに、「自分の課題を考え、家庭学習の計画を立てることが出来る。」の項目の肯定的回答が低かった。また、「新しい問題に出会ったときに解いてみたいと思う。」の項目の肯定的回答が1学期より下がっている。「授業で課題を解決するために進んで資料を集めたり取材をしたりする。」の項目では、小・中学校ともに1学期より上昇したものの、中学校での肯定的回答は70%に満たなかった。学習意欲の向上に向けて、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒実態に応じた課題の設定や、自分で問題解決の道筋をつけていく機会を増やしていく必要がある。また、教科等の本質に迫る「考える授業づくり」の実践に向けて、必要な情報を収集する力をつけ、学んだことを活用し、自分の言葉で表現できる力が更に必要となってくる。効果的な取組について全教職員のものとなるように、情報の共有化や意識統一を図る。

視点2では、学力調査の結果から、全国平均を下回った学年、教科が多かった。分析を丁寧に  
行い、改善ポイントを明確にして、計画的かつ継続的に改善ポイントを取り入れた授業を行う。

視点3においては、「今住んでいる地域のために、地域の行事などに参加している。」の項目  
の肯定的評価が小・中学校ともに低く、中学校では70%に届かなかった。今年度も新型コロナ  
ウイルス感染に関わって地域の多くの行事が中止したことが理由であると考えられる。一方で、  
中学校の「今住んでいる地域に、貢献しようとしている。」の項目では、1学期より4.9ポイ  
ント上昇した。これは主に総合的な学習の時間における取組を通して、地域と地域に暮らす自分  
について考える機会が増したためと考える。「よいことと悪いことを判断し、自分が正しいと思  
ったことを行っている。」及び「学校のきまりを守っている。」の項目では93%以上が肯定的  
回答をしていた。規範意識をもち、集団の一員としてよりよい学校生活の充実に努めている。

以上のことから、小中の連携をさらに図りながら、今年度も、基礎的・基本的な力を継続して  
育てつつ、教科等の本質に迫る「考える授業づくり」に取り組みたい。

### (3) 研究仮説

総合的な学習の時間を中心にカリキュラム・マネジメントを推進し、教科等の本質に迫る「考  
える授業づくり」を行えば、主体的に学び、協働して地域に貢献する児童生徒を育成するこ  
とができるであろう。

## 5 研究内容

### 確かな学力推進部会【授業改善・評価】

#### ① 教科等の本質に迫る「考える授業づくり」【授業改善】

ア 主体的な学びのための多様で効果的な指導方法の工夫

(ア) 児童生徒実態に応じた課題の設定

(イ) 考えを広め・深め・つなげるための効果的な発問の工夫

(ウ) 目的を明確にした話し合い活動と思考ツールの活用

#### ② 学習指導要領の趣旨を踏まえた評価の在り方【評価】

### 豊かな心教育推進部会【計画・開発】

#### ① 教科横断的なカリキュラム・マネジメントの推進【計画・開発】

ア 総合的な学習の時間を中心に、各教科等教育活動全体を通して、郷土についての理解を深め、  
そのよさに気付かせる。

#### ② 積極的な生徒指導の推進【計画・開発】

ア 教育相談の充実（QUの活用等）

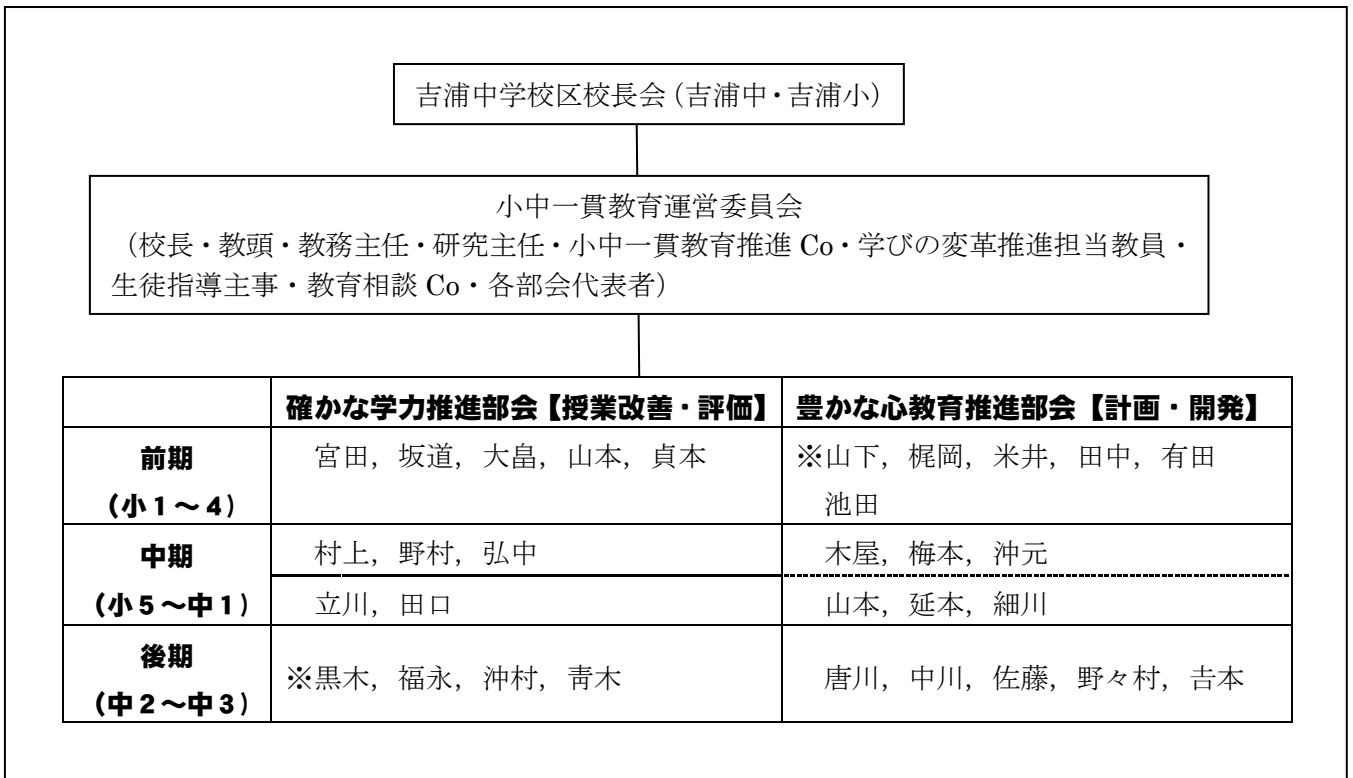
イ 学級活動や児童会、生徒会活動を充実させ、自己肯定感を高める。

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
【視点1】主体的な学びに関わる項目で肯定的評価が高まったか。	教師意識調査（5月・12月）	教師の肯定的評価	—	肯定的評価 80%以上 （12月）
	全国学力・学習状況調査（4月）及び「基礎・基本」定着状況調査等、児童生徒質問紙調査（6月）	児童生徒の肯定的評価	小学校 8～9割 中学校 6～8割	肯定的評価 80%以上 （12月）
【視点2】児童生徒の学力が向上したか。	○標準学力調査 小学校：1月 【国語・算数】 中学校：6月と1月 （3年は11月） 【国語・数学・英語】	全国平均との差 あるいは前回実施調査との差	○小学校 — ○中学校 全国平均を下回る	○小学校 全国平均以上 ○中学校 6月実施調査より上昇
【視点3】重点項目に関わる意識調査で肯定的評価が高まったか。	教師意識調査（5月・12月）	教師の肯定的評価	—	教師の肯定的評価が5月実施より上昇（12月）
	児童生徒意識調査（5月・12月）	児童生徒の肯定的評価	項目の56%が上昇	児童の肯定的評価が5月実施より上昇（12月）

7 推進体制等

(1) 推進組織



※各部会代表者

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等（中→小，小→中）

○ 中学校教員による乗り入れ授業

- ・ 吉浦小学校第6学年 算数科，理科（各1時間 2学期実施）
- ・ 吉浦小学校第6学年 総合的な学習の時間（1時間 3学期実施）

○ 小学校栄養教諭による中学校の乗り入れ授業実施

- ・ 吉浦中学校1年各学級 →1時間（計2時間）
- ・ 吉浦中学校2年各学級 →1時間（計2時間）
- ・ 吉浦中学校3年各学級 →1時間（計2時間）

イ 小学校教科担任制等

○ 実施計画なし

(3) その他

○ 長期休業中の中学校補充学習に小学校教員が参加

8 推進計画

月 日	実施内容	備考
4月 8日	小中一貫運営委員会	
4月	○全国学力・学習状況調査質問紙調査	
4月22日	○第1回全体会 (年間計画・研究推進・各部会の研究推進計画の作成)	
5月	○QU実施(中学校・1回目) ○児童生徒への意識調査アンケートの実施及び分析 ○教師意識調査の実施及び分析	
6月	○広島県「基礎・基本」定着状況調査質問紙調査	
6月 日	○第2回全体会 吉浦小学校 授業研究(総合的な学習の時間) 教諭	指導主事
7月	○保護者対象アンケートの実施及び分析	
7月	小中一貫運営委員会	
8月	○第3回 全体会(交流)サテライト研修 ○吉浦中オープンスクール(部活動体験)	指導主事
9月	○小中合同クリーン活動	
10月	○QU実施(中学校・2回目) ○吉浦小学校地域公開授業(10月 日)	
10月 日	○第4回全体会 吉浦中学校 授業研究(総合的な学習の時間) 教諭	指導主事
11月	○吉浦中学校地域公開，文化発表会(11月5日)	
12月	○研究のまとめ開始 ○児童生徒意識調査アンケートの実施及び分析	

	○保護者対象アンケートの実施及び分析 ○教師意識調査の実施及び分析	
1月	小中一貫運営委員会	
1月	○第5回全体会（研究のまとめ・成果と課題の整理）	
3月	○令和5年度研究推進計画立案	

## 8 その他

- ・小中一貫教育だよりを年に2回，発行する。（1学期，3学期）